

三州健康教室100回記念 市民公開講座

健やかな毎日のために

2002年1月より当院で開催している三州健康教室は、皆様のご参加により

100回目を迎えることができました。
今回、記念行事として5月22日に、
都城文化ホールで市民公開講座を行いました。

素晴らしい先生方の講演と癒しの音楽で、
会場に来られた方のアンケート結果には
喜びの声が多く聞かれました。
新聞にも掲載されましたが、少し内容
をご報告致します。



右の写真は、中ホール2階会場からの様子です。

癒しのコンサート



NHK 朝の連続ドラマ「藍より青く」のテーマソング
「耳をすませてごらん」で澄んださわやかな歌声を披露した
本田路津子さんがコンサートを行いました。

「LOVE 愛のうた」は手話を交えて歌われ、会場には
涙ぐむ方もいらっしゃいました。

当院緩和ケアのボランティアを
して下さっている坪山さんが、
素敵なバイオリン演奏を行って
下さいました。

生で聞くバイオリン演奏は心に響きました。



三州健康教室の歩み

当時の写真を用いて、職員が説明を行いました。

三州健康教室初回は、院内と近隣地区の回覧板で広報を行い、23名の参加者でした。
8年目を迎えて、現在では毎回70名程の参加となり、カンファレンス室も満員の状況です。
今後も、皆様の健康への啓蒙活動の一環として活動を続けて参りますので、宜しくお願いします。

開催日時や内容は、都城市広報・三股広報・霧島フォーラム・みやこん農・三州病院ホームページで
回覧できますので、ご利用下さい。

ここまで進んだがん治療

鹿児島大学大学院腫瘍制御学消化器外科学教授

夏越祥次先生 講演

がんの治療

1. 手術
 - ・開胸術・開腹術
 - ・鏡視下手術
2. 放射線療法
3. 化学療法
 - ・内視鏡的粘膜切除術
 - ・内視鏡的粘膜下層剥離術
4. その他の治療
 - ・ロボット手術



人もいろいろ、人生もいろいろ

↓
個人の育ってきた環境は異なるので、個々のがんの性質も異なる

↓
一人一人に最も適切な治療と一緒に話し合う、医師との信頼関係が大事

緩和ケアが目指すもの

金城学院大学学長

柏木哲夫先生 講演

- 緩和ケアとは
「人がその人らしい生をまっとうするのを援助すること」
患者さんのより良い生活の質（QOL）の為に、苦痛の緩和は
積極的に行う。
- 患者さんと接する時、平等意識を持つことが大切
「あなた死ぬ人、私も死ぬ人」ただ少し死ぬ時間がずれているだけ。
- 「死の感覚の覚醒＝病気や死の影を感じた時」をきちんと意識することで
患者さんと同じ目線に立つことができる。

↓
患者さんが何を考えているのか、何を感じているのか「寄り添う」ことができる。

相手が遠慮せずに話せるような距離間が大切。近づきすぎてもいけないし、遠くてもいけない。



講演後のサイン会を
されている柏木先生

次回の三州健康教室は、
6月11日(金)
「貧血」のお話です。

お問い合わせ

三州健康教室スタッフ一同
文責：西俣里子
責任者：川内京子